

# 孫の手通信

特別号

発行人  
江川次郎  
株式会社  
エガワ

若い社員が集まって、今回の大震災で起こった事について話し合いをしました。  
その時何を思い、何を考えたか？

今回の大震災は、我々エガワの社員にとっても、決してよそ事ではありませんでした。ある社員にとっては、被災した親戚の安否を気遣う数日がつづきました。ある社員にとつては、昔憧れた数多くの先輩達を生み出した街が、一瞬にして津波にのみれ消えてしまった事を信じる事ができませんでした。そして、三月十一日は、我々の仕事についてもあらためて考えさせられる日になりました。今回は、特別号として、エガワの特に若い社員がこの震災で何を

感じ、何を考え何を学んだかを、仕事が終わった金曜日の夜、集まって話し合いました。その時の事を、お客様にも是非お伝えしたいと思われました。エガワの若い社員四人が思ったことをそのままに、皆様にお届けします。

江川秀生

秀生 お疲れさまです。先ず今回の震災で被害に合われた方々と、お亡くなりになられた方々に心からのお見舞いとお悔やみを申し上げます。さて、この二週間



ボクなりにずっと考えていました。私達に何が出来るか、何をしなければいけないかを。

エガワはこの下北沢でガス、水道、電気というライフラインの言わば最終部分、家の中の機器の取付や修理という仕事をしているわけで、やはりこの地域のお客様の生活を守るために一生懸命仕事をする事が我々には一番大事な事だと思っています。

菊池 あの日、ボクは七時過ぎまで会社にいました。地震の後、ガスマーターの復帰の問い合わせがたくさんありましたから、困っているお客様がまだいるのではと気になっていたから...

それで事務所に待機していました。高橋 土曜日にも合わせると、あの電話が通じない中で500件くらい問い合わせがあつたそうです。



ほとんどガスマーターの復帰依頼だったと記憶しています。

ボクは電車が動かないので車で女性陣を家まで送りました。

菊池 それで、やっぱりお客様から電話が七時過ぎにあり、アパートの大家さんだったんですが、そのお客様のアパートのガスマーターを、家主様にも立会っていただき、全て復帰させてから家にかえりました。

高橋 ご苦労様でした。

菊池 いえ、ボクはバイクなので慌て帰る事もないです

から、後になって、



メーター復帰の話

皆としたんですが...

石田 そうなんです。ガスマーターの復帰って、そんなに難しいことではないんですよ。誰でも簡単に出来る

んです。最初にガスを使用する時にお客様に配られる「ガス使用の手引き」という小冊子にも分かりやすく説明が書いてあります。でも今度みたいな時は、皆さん慌てているし、怖いでしょう！ご自分でガスの復帰なんて出来ないですよ。 (2面に続く)

この度の東日本大震災により被災されました皆様に

心よりお見舞い申し上げます。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

お身体にご留意の上、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

株式会社エガワ 社員一同